

きよたまちづくり区民会議通信

第8号



発行元 きよたまちづくり区民会議

(事務局：清田区市民部地域振興課)

〒004-8612 札幌市清田区平岡1条1丁目

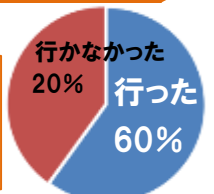
電話011-889-2024

2014 清田区民フォーラムを開催しました！ (11/3、清田区民センター)

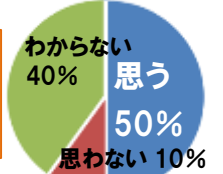


▼来場者の方に聞いてみました

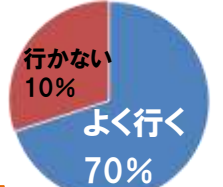
「きよたマルシェ」や「ヒルズマルシェ」
に行った？



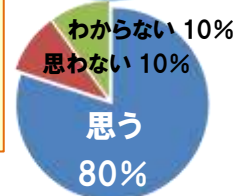
清田区は「ラーメン激戦区」だと
思う？



北広島市へ買い物によく行く？



北広島市に来ている観光客の方を、
もっと清田のほうに呼び込むべきと
思う？



⇒ フォーラムの内容は 2～3 ページ

- ・区民会議では、毎年、清田区の誕生日に際して、まちづくりを考えるフォーラムを清田区と共催しています。
- ・「きよたマルシェ」(⇒4 ページ)のような区民が集まりたくなるようなことや、これからの清田区のまちの楽しい使い方などについて、ゲストのお話を聞きながら考えていきました。

お知らせ

まちの灯り in きよた ～この冬も、区内各地をキャンドルが彩ります。～



・豊かな自然と四季を感じるまちづくり活動の一つとして冬の清田区を彩る「まちの灯り」を見に出かけてみませんか？1月～2月にかけて区内各地でキャンドルが灯されます。日時や会場はホームページでご覧いただけます。

⇒日時・会場は [まちの灯り in きよた](#) で [検索](#)

・キャンドルのやさしい灯りを感じる、心温かな冬の暮らしを楽しんでみませんか？

ご家庭や学校、企業で、スノーキャンドルを作ってみませんか？

チャレンジ
してみよう！



①バケツに雪を多めに
入れる。



②平らになるように
押し固める。



③設置場所を決め、
逆さまにしてバケツを
抜く。



④園芸用スコップな
どで雪をくり抜く。



⑤ろうそくを入れて
完成！

第1部 基調講演

“つながってまちを楽しく”

**ゲスト 風味絶佳 佐藤 亜美さん** (北広島市希望ヶ丘1丁目14-14)

風味絶佳は、2012年10月にオープンした北広島市希望ヶ丘にあるブックカフェ。

こだわりのお食事や喫茶を楽しみながら、店主の佐藤亜美さんが選び抜いた様々な蔵書をご覧いただけます。また、コミュニティの場として、家庭菜園やベビーマッサージ、カフェ書道、手作りお味噌など毎週さまざまなワークショップが開催されており、佐藤さんは、本と人と場所とを橋渡しする“ブックリエゾン”として活躍されています。

風味絶佳では

- ・場所や空間に見合った本をご紹介して、お客様の時間をよりよいものにするお手伝いをしています。
- ・住宅街にあるお店なので、情報発信やお客様に体感いただけるメニューづくりを大切にしています。

コミュニティビジネス

- ・開業したきっかけは、地域が抱える課題を地域資源を生かしてビジネスで解決する「コミュニティビジネス」支援制度。
- ・行政のサービスが行き届いていないところをやらせていただければ、地域のお役に立てるのではと思ったのです。

フィールドワーク

- ・まず、お散歩中の方にいきなり、希望ヶ丘に足りないものは何ですか？と聞いて回りました。
- ・変な人に見られていたかもしれないのですが、よい風が吹いていて、自分の夢がかなうかもしれないというときに、なりふり構ってられなかったのです。

豊かな暮らしを提案

- ・お店をやりたいという独りよがりな考えではなくて、豊かな暮らしを提案できるお店づくりを心がけました。
- ・勉強できるところが少ないんだよね、という声を聞いたので、色々なタイプのワークショップを開催しています。

コミュニティづくり

- ・3.11東日本大震災のときのあの惨状を見て、コミュニティづくりは、日々の手入れが大切なのだなど実感したことも、私がワークショップを大切にする理由の一つです。

活動表現の場

- ・自分が1人でできることは限られています。得意分野を持つプロの方たちに、講師としてお店づくりに参加してもらうことは、お店も成長できると思いますし、自分で新しいポジションを切り開こうとする方々の活動表現の場にもなっています。

そっと背中を押す

- ・風味絶佳文学賞は、有志の常連様たちが審査員を務めてくださる私設の文学賞。小中学生の部と一般の部で、自由作文を応募してもらう仕組みです。
- ・子どもの頃、得意なことが何もなく私にとって、唯一書いた文だけは誰かしら目にとめてくださったことがとってもうれしかった。だから私も、小さいけれども、太陽である大人でいたいと思ったのです。

バランスよく、とにかく継続

- ・飲食業をなりわいにしようと決めたのも、社会のお役に立ちたい、その姿を子供に見せたいというのが発端でした。
- ・日常の慌ただしさで、大切にしたいことを見失いそうにもなっていますが、私がやりたいこと、私ができること、地域が求めること、この三つをバランスよく、三つの真ん中の部分をとにかく継続することを意識しています。

楽しいまちに

- ・毎日つながりの道を広げていき、願わくば、結果として楽しいまちができていけばいいと思います。
- ・今はまだ2年目なので、その種まきを一生懸命頑張ります。



第2部 パネルディスカッション “清田区のまちの楽しい使い方”

(ピスターシュ、雑貨店)

ゲスト pistache 渋谷 聡子さん



- ・6月の「ヒルズマルシェ」は、近所のCafe ZIKKAさんのスペースをお借りできることを知って、たまたま企画したものなんです。お友達や自分の行きたいお店に声をかけ、今年は15店舗くらい集まってくれました。
- ・個性豊かなマルシェを目指しています。幅広い年齢層の方に来ていただけるよう、お菓子やお野菜、マッサージ、ペットなど色々なお店が入りました。
- ・お客様は、清田区のほか、北広島からも足を運んでくれたようです。

ゲスト らーめん虎 ケンさん



- ・ラーメン業界を盛り上げ、プラス清田を盛り上げようとして取り組んできました。
- ・根底にあるのは、書き込みで「しょせん清田レベルでしょ」と言われたこと。先輩たちや清田それ自体が否定されたようで悔しくて。じゃ、俺が引っ張ってやろうと。結果、清田はラーメン激戦区と言われるまでになってきました。
- ・7月の「清田アクション」は、有明の農家さんが作ったほうれん草「ポーラスター」と、清田といえば「コカ・コーラ」、これらを使って、仲のいいラーメン店5店が、それぞれ自分の思いで好きなものを作ったんです。



パネリスト

pistache 渋谷 聡子さん (清田区里塚緑ヶ丘2丁目15-8)

らーめん虎 ケンさん (清田区北野3条3丁目15-30)

きよたまちづくり区民会議 委員 飯田 俊郎 さん
(札幌国際大学スポーツ人間学部教授)

清田区長 新谷 光人

きよたブランド を育む ～農業・水・自然・花・
マルシェ・食・きよたネーゼに代表される暮らし～

- ・「きよたマルシェ」は買い物だけでなく、区民の方が時間を消費するような楽しい、にぎわいのある場に。
- ・地域に関係なく車で移動しながら、カフェなどで生活を楽しんでいる女性、いわゆる「きよたネーゼ」と呼ばれる方々は、実際に、結構いると思う。
- ・きよたスイーツやラーメンなど、清田区の食の文化についてももっと考えてPRしていくことが、清田の楽しいライフスタイルの一つでは。

北広島市との連携促進

- ・清田区と北広島市の間で働きに行き来する人は多く、この傾向は今後も続く。清田区は札幌の端っこではなく北広島市との間の真ん中。清田区11万人、北広島市6万人、この圏域で盛り上げていけるのでは。
- ・お客様がカフェや雑貨屋さんを回るルートには北広島市がセットに入っている。境界線を決めずにルートマップやお店の紹介などで連携できたら面白い。
- ・清田区全体の拠点や、歩いて暮らせる地区ごとの拠点に、北広島市との連携という視点も入れて考えては。

きよたチャレンジ ～にぎわいある豊かな暮らし、
美味しい食の可能性、生活密着型の産業～

- ・清田といえばこれだよね、というものが一つできれば、お店にも出していきたい。
- ・ラリーポイントカードがあれば、マップに載っているお店へ行ってみるきっかけになる。
- ・スイーツをはじめ、ラーメンや雑貨、カフェなど、日々の暮らしと密着したジャンルには、ライフスタイルや楽しみ方を提案する仕掛け人がいて、清田区の特長を発揮できる可能性がある。
- ・こうした「アクション」を起こす人たちの動きを、商工会を通じてバックアップできるような取組ができればよい。
- ・産業としてまちのにぎわいを出すためには、区民の方もいち早く「リアクション」を起こしていく必要がある。
- ・「きよたネーゼ」のリアクションを取り上げて、「きよたネーゼご用達ブランド」なんかが生まれていけば。
- ・北広島市への観光客など、外から清田区に人を呼び込むことは、軋轢を生むこともあるが、地域経済の活性化には重要なことだと思う。

区民会議では、フォーラムの内容を振り返り今後の取組の検討を進めていきます。

「きよたマルシェ」を開催しました！（9月、清田区役所前市民交流広場）



地産地消の推進・きよたブランドづくりを目指して

・「きよたマルシェ」（農産物等即売会）は、地産地消の推進や「きよたブランド」づくりを目的として、清田区産農産物や水、スイーツなどの「きよたの魅力」を区民や地元の企業・団体が発信し、清田区への愛着の深まりや、地域の活性化を目指すイベントです。区民会議で検討を進め、この秋、初めての試みとして開催することができました。

市民交流広場に“にぎわい”

・来場者は3日間で延べ約1,000人。メイン開催日には、買い物を終え、「きよたスイーツ」やコーヒーなどを楽しみながら、音楽を聴いてゆったりと過ごされる方が数多くいらっしゃいました。

9/20（土）メイン開催日

・「きよたの魅力」である農産物や、水、スイーツなどに関わりのある多くの地元企業・団体などが出店しました。また、同日開催のステージイベント「清田わいわいフェスティバル」には、地元ゆかりのミュージシャンやダンスチームなど多数の方出演しました。



▲地元野菜を販売し、地産地消をPR



▲食生活改善推進員ボランティアの方による試食



▲きよたスイーツ×カフェ



▲「きよっち」のペットボトルキャップアート

9/6（土）、13（土）

「ミニマルシェ」

- ・朝市として、ポーラスター（ほうれん草）をはじめとする清田区産を中心とした野菜を販売しました。
- ・地産地消のPRとして、清田区産野菜を使った料理のレシピなどを配布しました。



きよたまちづくり区民会議 では

「豊かな自然環境を生かしたまちづくり」をテーマに検討を進めています。

・区民会議は、どなたでも傍聴できます。会議の開催予定や検討内容、フォーラムの開催結果などは、ホームページからご覧いただけます。 [きよたまちづくり区民会議](#) で [検索](#)

区民会議の活動についてご意見があれば、事務局までお寄せください。FAX889-2701 メール kiyota.shinko@city.sapporo.jp